

「高信頼性鋼の山陽」のブランド力強化

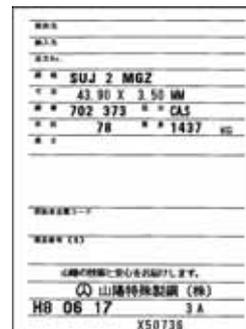
「高信頼性鋼の山陽」を支える高い技術力を維持・拡大していくために、業務の改善、最新情報の紹介など多様な活動を展開しています。

出荷ラベルにメッセージ「山陽の技術と安心をお届けします。」

2010年4月、当社の出荷する全ての製品に添付される出荷ラベルに表記されるメッセージを社内で公募しました。応募の中から「山陽の技術と安心をお届けします。」を選びました。

メッセージは、お客様へのアピールだけでなく、当社の宣言文であることも兼ね備えています。

当社の培った高い技術による製造から、お客様の元へ製品をお届けするまで、全ての方が製品を大切に扱うこと。これによって、当社製品は安全な部品・製品として使用できるという安心感をお客様へ提供し、高い信頼を得る、という思いを込めて選定しました。



TPM 活動の推進

当社のTPM (Total Productive Maintenance : 全員参加の生産保全) は、設備を対象に潜在する「故障、トラブル」に代表されるロス・ムダを徹底的に排除して、生産効率(経営効率)を極限まで高め、製品の安定供給を実現・維持する活動です。

当社では、生産部門を主体に、自主保全・計画保全・個別改善・品質改善・安全衛生・教育訓練の6項目に重点を置いて、製造現場の作業単位で、TPM活動を推進しています。

また、サークル単位でのTPM活動に対して、定期的な成果発表の場を設け、優秀な活動事例については、社外発表大会で発表しています。



技術講演会の開催

当社では、鉄鋼に関する最新の研究・開発動向などを幅広く全社的に紹介するため、内外の研究者や技術者を講師に招いた「技術講演会」を開催しています。

2010年度は、「浸炭技術発展の経緯と今後の動向」や「ステンレス鋼概論」、「ベイナイトのターミノロジー」と題した技術講演会を開催しました。講演会では、毎回、多数の聴講者が参加し活発な質疑応答がなされ、大変有意義な講演会となっています。



知的財産の取り組み

企業行動指針の下に定められた行動基準において、会社の知的財産権は重要な会社資産であることを認識すると共に、他社の知的財産権についても自社のものと同様に尊重すると定めています。

一例として商品開発において、他社の特許権を侵害することがないように注意を払い、適切に対処しています。その他、知的財産に関する研修コースを取り揃え、毎年各種の研修会を開催し、従業員の理解を図っています。